



# Team Dainan

八千代市立大和田南小学校  
《校長室だより》  
令和3年度 第4号  
令和3年 4月30日

## 命を守る授業！！ ～1年生 歩き方教室～



4月23日に命を守る授業として1年生「歩き方教室」を行いました。多くのご家庭では、お子様の登下校や外出時に「車に気をつけて!」と、声掛けをしていらっしゃるのではないのでしょうか。でも、本当に子供たちは、安全な道路の歩き方ができているのでしょうか…。

入学したばかりの1年生は、学校生活に慣れるまで、方面別に集団下校をしています。自分ので安全に家まで帰らなければなりません。1年生は、大人と比べ、視線の位置が

低く、視野も狭いです。安全に歩くということは、大人が考える以上に決して簡単なことではありません。

指導員の先生からは、「道路を歩くときは、右の端を歩きます。」「道路を渡る時は、ちょっと止まって、右・左・右、手を上げて車が止まったら渡ります。」「信号は、青のときだけ渡ります。」などについて教わりました。大人にとっては簡単であたりまえのことも1年生にとっては十分に身に付いているとは言えないのが現状です。なぜ右側を歩くほうが安全なのか、青信号でも交差点では左折してくる車に気をつけなければいけないのか等わかりやすく教えてくださいました。ゴールデンウィークを前に今一度道路の歩き方についてご家族で話し合われてみてはいかがでしょうか。

## 1mmの中の「いのち」～学問なき経験は、経験なき学問に勝る。～

3年生は理科の学習で昆虫の育ち方を学習しています。チョウの観察を通して、育ち方や体のつくりについて学んだあと、トンボやバッタの飼育を行い、チョウの育ち方や体のつくりと比較して、違いや共通点を見出すことで理解を深めていきます。

昆虫が苦手という子供もいますが、大半は、飼育したり、観察したりしているうちに、自然に興味をもつようになります。なかには、昆虫に名前をつけたりする子も出てきたりもします。知識は、教科書から学ぶことができますが、命の不思議さや感動は、経験からしか学ぶことができないのではないかと思います。

右の写真は、モンシロチョウの卵を観察しているところです。大きさは1mmくらいですが、この中に命が宿っています。

観察記録に書かれていた子どもたちの感想をいくつか紹介します。

- ・トウモロコシのように縦の線と横の線があり、すごかったです。(あいり さん)
- ・すごくすごくちっちゃくて、すごかったです。卵をまた見たくになりました。(れん さん)
- ・なんか色は黄色で、感じたことは、卵でも「いのち」を感じた。(かんだ さん)
- ・大きさは1mmくらいで、顕微鏡で見るとすごく大きかった。(ほのか さん)

